

## <参考資料>

### 1 中部公設試験研究機関研究者表彰

(公財) 中部科学技術センターでは、中部地域(愛知、岐阜、三重、静岡、長野、富山、石川、福井)の公設試験研究機関に所属する研究者を対象として、創造的研究活動の意欲高揚を図り、地域産業の発展に寄与することを目的として、顕著な研究功績のあった研究功績者と、永年にわたり地域の技術指導者として功績の大きかった指導功労者を対象に、毎年表彰を行っている。

令和5年度：11名受賞 令和4年度：10名受賞 令和3年度：11名受賞

<参考：(公財) 中部科学技術センター 中部公設試験研究機関研究者表彰

[http://www.cstc.or.jp/business/cstc\\_kousetsu\\_hyosho.php](http://www.cstc.or.jp/business/cstc_kousetsu_hyosho.php)>

### 2 令和5年度 中部公設試験研究機関研究者表彰式について

日時：令和5年9月29日(金) 14:40～15:50

内容：表彰式、受賞講演



### 3 県工業技術センターの受賞者

#### 中部科学技術センター会長賞 [指導功労者]

福井県工業技術センター

新産業創出研究部 総括研究員 近藤 幸江 (こんどう ゆきえ)

(業績の名称)「繊維の機能性加工研究・指導による産業資材への用途拡大と産学官連携支援」

#### 指導功績概要：

福井県の基幹産業である繊維産業において、長年にわたり繊維(高分子)物性、難燃加工、電子線改質を専門として技術開発研究に取り組み、衣料から産業資材へと用途拡大の技術指導による支援を行ってきた。

特に電子線照射技術を利用したグラフト反応による繊維の改質研究では、世界で初めての量産加工装置開発とその加工条件の確立を行い、繊維の高耐久性機能加工の工業化に貢献した。

また、日常的に県内繊維業者から持ち込まれる欠点品の形態観察や物性試験、解析を担当し、これらの経験と知見が企業の製品開発に役立てられた。

さらに、長期間福井県繊維技術協会の事務局を兼任し、業界の技術力向上に貢献した。

近年は、産学官金連携の「ふくいオープンイノベーション推進機構(FOIP)」の設立、FOIP活動を推進するための研究会の立ち上げ、さらには産学官共同研究プロジェクトの創出に尽力し、産学官連携の環境醸成に貢献した。またその知見は県内企業との共同研究で活かされ、的確な研究実施やマネジメントにより、産学官共同研究で実績を出している。